

Q 鶴ヶ島市の行政改革について

もちだ 持田

やすあき 靖明

議員



A 職員一人ひとりが意識を持つことが必要

問 平成28年度から令和2年度までの鶴ヶ島市行政改革推進計画の結果について。

答 経費削減や業務効率化などを中心に取り組み、職員意識の醸成が進んだ。経費では、令和元年度までの4年間で6億9000万円ほどの効果が出ている。**問** 組織や集団としての改善活動の考えは。

答 スマート自治体に向けたデ

ジタル化なども含め、情報推進課を中心に各所管課で色々な検討をしてきた。若い職員を中心に、現状の業務の進め方など100を超える改善提案が出ている。個々だけでは進まないものもあり、チームとして進めていくことは重要である。**問** 行政におけるPDCAサイクルについて。

答 予算編成は、議会における



市役所1階の様子

決算審議を受けて翌年度の予算に反映している。また、その他要望も踏まえ、翌年度の予算編成に活かしている。そのほかにも、政策推進課、財政課、人事課、その他関係課で、決算を踏まえた各施策の評価を実施し、次年度に反映すべきもの、中期的に取り組むものなどの整理をしている。今後は、まちづくり審議会の意見も反映していければと考えている。

Q 市長の重要政策のゆくえ

はせがわ きよし 長谷川 清 議員



A 積極的に取り組みたい



市役所庁舎

問 鶴ヶ島市新体育館整備構想の状況は。

答 農業大学校跡地の東側に、市立の体育館と県立の産業支援施設を合築する可能性を県に提案してきたが、難しいとの回答があった。様々な可能性を探って、引き続き県に要望していきたいと考えている。

問 市の体育館のことを他力に委ねて中途半端にするのではなく、必要な施設であるならば、政策にしっかりと位置付けるべきでは。

答 市民や団体からの要望が強いことを重く受け止め、第6次鶴ヶ島市総合計画の期間の中で、何とか体育館の方向性を出して

いきたいと考えている。**問** 長期間未着手となっている共栄鶴ヶ丘線(都市計画道路)の整備は。

答 道路幅員を縮小して整備する。計画区間の一部の完成予定は、令和9年度中と考えている。**問** 一本松駅南口の開設はどうするのか。

答 現時点では東武鉄道株式会社において南口改札を開設する予定はなく、整備費及び毎年の維持費の全額を本市が負担すれば開設が可能との回答があった。今後とも時期やタイミング等を計って、積極的に交渉していく。